



かい ごと し かく
介護資格ガイドブック

かい ごと
介護のしごとへの
いっ ぽ
はじめの一步



JOIN US! /
介護のしごと

11月11日は
介護の日

詳しくはこちらをチェック

北海道 介護のしごと



北海道保健福祉部
高齢者保健福祉課

- キャリアステップでみるかい ごと し かく 介護資格
- かい ごと し せつ しょく いん 介護施設の職員に聞いてみました！

介護は「その人らしい暮らし」を支える仕事です。

介護の仕事と聞くと、
食事や入浴、移動のお手伝いを思い浮かべる方が多いかもしれません。

もちろん、それも大切な仕事の一つですが
利用者さんが安心して毎日を過ごせるように、
体の状態や気持ちの変化に気づき、声をかけ、
できることを一緒に増やしていく仕事です。

たとえば、
「今日は少し歩いてみましょうか」
「好きな音楽をかけましょうか」
「ご家族に伝えておきますね」

そんな日々の関わりが、利用者さんの暮らしを支えています。
相手のことを考える力、気づく力、学ぼうとする気持ちが、
現場で大きな力になります。



あなたも介護のしごとへの
はじめての一步踏み出してみませんか？

INDEX

介護のしごとへの はじめての一步

- 03 北海道の介護の現状とこれから
- 05 介護のしごとマップ
- 07 介護の資格紹介
- 09 資格取得方法



Interview

- 介護現場(施設)
- 11 介護老人福祉施設 藤野すずらの社
／宇田 侑生さん
- 13 サテライト型小規模多機能ホーム るびなす
／澤田 大恵さん



01

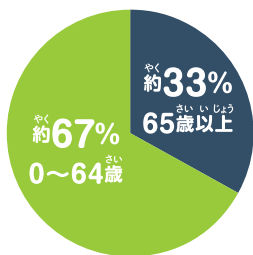
北海道の介護の 現状とこれから

介護のしごとへの
はじめての一步

北海道では高齢化が進み、介護を必要とする人を地域
全体で支えていくことが、ますます重要になっています。
高齢化が進むということは、介護サービスを必要とする
人が増えるということ。そして同時に、その人たちの暮らし
を支える介護職員の役割も大きくなっていきます。



北海道は、全国より高齢化が進んでいます



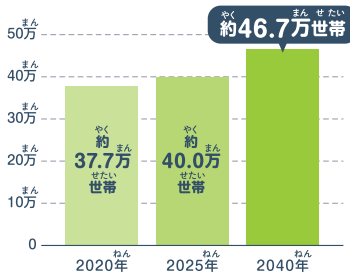
北海道の
65歳以上の人口割合 **33.3%**

全国平均 **29.3%** (2024年10月1日現在)

総務省統計局(2024年)「人口推計年報」より

北海道では高齢化が進み、65歳以上は33.3%。全国平均の29.3%を上回り、すでに約3人に1人が
高齢者です。一方で14歳以下は9.9%と少なく、地域を支える介護人材の必要性が高まっています。

ひとりで暮らす高齢者も、増えています



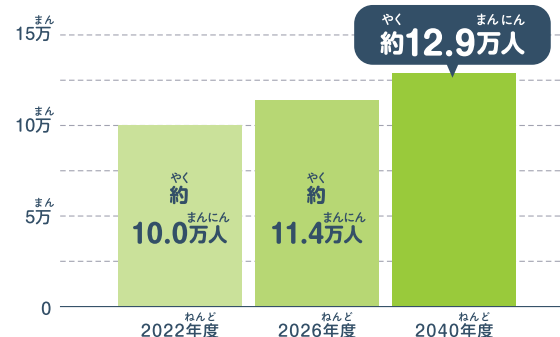
北海道の単身高齢世帯は2040年に
46.7万世帯へ

国立社会保障・人口問題研究所
「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」
(2024年4月 推計)より

介護が必要とされる理由は、暮らし方の変化にもあります。北海道では単身高齢世帯が今後さらに
増える見込みです。介護の仕事は、住み慣れた地域での生活を支える役割を担っています。

介護の仕事は、 これからさらに必要とされます。

〈北海道の介護職員必要数〉



出典:厚生労働省「第9期介護保険事業計画に基づく
介護職員の必要数(都道府県別)」2024年公表

特に北海道は市町村ごとに人口構成や高齢化の状況が異なるため、それぞれの地域で
介護の担い手を育てていくことが大切です。厚生労働省の資料では、第9期介護保険事業
計画に基づく介護職員の必要数として、北海道において2026年度には約11万4千人、
2040年度には約12万9千人が必要と見込まれています。

02

介護のしごと マップ



介護のしごとへの
はじめての一步

介護の仕事には、いろいろな関わり方があります。このページでは、暮らしを支えるさまざまな職種や、具体的な仕事内容について分かりやすく紹介します。あなたに合った「はじめての一步」をここから見つけてみませんか？

介護の仕事には、いろいろな関わり方があります。

介護の仕事は、利用者さんの生活を支えるために、さまざまな職種が連携して進めています。

介護職員・介護スタッフ



利用者さんの食事、入浴、排せつ、移動、レクリエーションなど、日常生活を支えます。

訪問介護員



利用者さんの自宅を訪問し、生活援助や身体介護を行います。

介護福祉士

介護分野の国家資格を持つ専門職として、より専門的な知識と技術を活かして利用者さんを支えます。



介護支援専門員(ケアマネジャー)

介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、利用者さん・家族・事業所をつなぎます。

生活相談員



利用者さんと家族の相談に応じ、施設やサービスの利用調整を行います。

看護職・リハビリ職・栄養士など



医療やリハビリ、食事の面から、利用者さんの健康を支えます。

介護助手

身体介護以外の周辺業務を行い、介護職員が専門業務に専念できるようサポートします。

介護のしごと内容紹介

介護の仕事で大切なのは、利用者さんができることを大切にしながら、その人らしい生活を支えることです。

身体介護



食事、入浴、排せつ、着替え、移動など、体に直接関わる支援を行います。安全に、安心して過ごせるよう、体調や表情の変化にも気を配ります。

生活援助



掃除、洗濯、調理、買い物など、日常生活に必要なことを支援します。自宅での暮らしを続けたい方にとって、大切な支えになります。

介護のしごと

コミュニケーション



日々の会話や声かけも、介護の大切な仕事です。「今日は元気がないかも」「いつもより食欲がある」など、小さな気づきが支援につながります。

レクリエーション 活動支援



体操、季節の行事、趣味活動などを通じて、楽しみや生きがいをつくります。介護の仕事は、利用者さんの生活に近い場所で、毎日の安心を支える仕事です。

03

介護の 資格紹介



介護のしごとへの
はじめの一步

介護の仕事には、未経験から始めやすい入口があります。
最初からすべての資格を持っている必要はありません。
働きながら学び、経験を積み、少しずつ専門性を高めて
いくことができます。

未経験からでも、
資格を取りながら
ステップアップできます。



Step

01

公的資格

介護職員
初任者研修

介護のしごとの入門と言える資格。介護のしごとに
たずさわる上で最低限の知識・技術・考え方を身に
つけ、基本的な介護業務を行えるようにすることを
目指します。



Step

02

公的資格

介護福祉士
実務者研修

介護福祉士を目指すために設けられた資格。幅広い
利用者に対する、基本的な介護提供能力の習得
を目標としています。



Step

03

国家資格

介護福祉士

介護のしごとのリーダーとなる資格。専門的な知識や
技術をもって介護を必要とする人の自立生活(希望)
を支援します。さらに医療的ケア(たん吸引などの医療
行為)の研修により専門知識と技術を習得できます。
また、介護するご家族の相談や指導の役割も期待
されています。

Step Up!

その他の資格

国家資格

介護支援専門員
(ケアマネジャー)

介護を必要とする人の相談に乗り、適切なサービス
が受けられるよう調整するしごとです。相談者の
代わりに市町村や介護施設、介護サービス事業
所などに連絡して最適なケアプランを考え、ケア
プランが正しく行われているかどうかの確認も
行います。

※ケアプラン: 介護サービスなどを利用するに
あたっての計画書

国家資格

社会福祉士

社会福祉サービスを提供する人の相談を受け
ながら、社会的に自立できるようアドバイスします。
利用できる福祉制度や必要なサービス・情報に
関する幅広い知識が求められます。

04

資格取得方法



介護のしごとへの
はじめの一步

介護の資格には、学校や研修だけでなく、働きながら学ぶ方法など、取得できる様々なルートがあります。最初から全ての資格を持っていないで大丈夫。あなたに合った学び方や進め方をここから見つけましょう。

自分に合った学び方で、介護の仕事へ。

介護の資格は、学校で学ぶ方法だけでなく、研修や通信講座、働きながら学ぶ方法など、さまざまな取得ルートがあります。

研修を受けて取得する

介護職員初任者研修や実務者研修は、指定された研修機関で受講します。通学中心のもの、通信学習とスクーリングを組み合わせるものなど、学び方は研修機関によって異なります。



専門学校・養成校で学ぶ

介護福祉士を目指す場合、養成施設で学ぶルートもあります。基礎から専門的に学びたい方、同じ目標を持つ仲間と学びたい方に向いています。



働きながら学ぶ

介護施設や事業所で働きながら、資格取得を目指す人も多くいます。職場によっては、研修費用の補助やシフト調整など、資格取得を支援する制度がある場合もあります。



ハローワーク・職業訓練を活用する

求職中の方は、職業訓練として介護分野の講座を受けられる場合があります。費用や受講条件は制度によって異なるため、事前に確認しましょう。



まずは「知る」ことから。次に「相談する」ことへ。

未経験から始めるモデルルート

01



✓ 介護の仕事を知る

仕事内容、働く場所、資格の種類を調べる。

02



✓ 自分に合う入口を選ぶ

すぐ働きたい、資格を取ってから働きたい、学校で学びたいなど、自分の状況に合わせて考える。

03



✓ 初任者研修・実務者研修を検討する

介護の基本を学びたい方は初任者研修、介護福祉士を見据える方は実務者研修も選択肢になります。

04



✓ 職場見学・説明会に参加する

実際の職場を見ることで、仕事のイメージが具体的になります。

05



✓ 働きながら経験を積む

現場で経験を重ねることで、自分に合う働き方や目指したいキャリアが見えてきます。

06



✓ 介護福祉士・ケアマネジャーなどヘステップアップ

経験と学びを重ねることで、より専門的な資格や役割を目指せます。



「ありがとう」が
つぎ 次から
次の力になる

プロフィール

宇田 侑生 さん

介護老人福祉施設 藤野すずらの杜
施設ケア部生活支援課

ユニットリーダー

取得資格: 介護福祉士
(勤務歴1年)



介護施設の職員に聞いてみました

Q

&

A



01 介護の仕事に興味を
持ったきっかけは？

大好きだった祖父の死がきっかけです。
亡くなる前に、もっと自分にできることが
あったのではないかと思います。
その気持ちで、介護の仕事について考える
きっかけになりました。

02 働いてみて、
介護のイメージは
変わりましたか？

最初、介護は一人で黙々と行う仕事だと
思っていました。でも実際は、職員同士や
他の専門職と協力する「チームケア」が
とても大切です。連携することで、大きな
力や新しい発想が生まれる仕事だと感じて
います。

03 介護の仕事で
大変だと感じることは？

毎日、同じ対応ではないことです。相手は
ロボットではなく、もちろん感情のある人です。
気持ちや体調は毎日変わるので、その時に
合う関わり方を考える必要があります。多く
の人と関わる中で、自分の引き出しを増やし、
気持ちに余裕を持つことを学びました。

04 介護の仕事の
やりがいは何ですか？

利用者さんや職員からの「ありがとう」が
何よりのやりがいです。「宇田さんがいて
くれて助かった」「元気が出る」と言って
もらえると、この仕事をしていてよかったと
思います。介護は、笑顔を届け、笑顔をもら
える仕事です。





あ まえ
「当たり前の
生活」を支える
ばん そう しゃ
伴走者

プロフィール

さわ だ ひろ え
澤田 大恵さん

サテライト型

小規模多機能ホーム るびなす

所長

取得資格：ヘルパー2級、介護福祉士、
介護支援専門員、社会福祉士
(勤務歴15年)



介護施設の職員に聞いてみました

Q

&

A



01

介護福祉士を
目指したきっかけは？

自身のスキルを国家資格として証明し、専門性を高めたいと考えたからです。働きながらの学習は日々の業務がそのまま学びになり、自信につながりました。取得後は「根拠あるケア」への責任感が芽生え、利用者様と向き合う姿勢がより深まりました。キャリアアップのためにも欠かせない資格だと感じています。

02

さらに資格を
取得したきっかけと、
今の仕事への活かし方は？

体力面を考慮して介護支援専門員(ケアマネジャー)の資格を取得しました。また、通信制で社会福祉士を取得した同僚に刺激を受け、私も挑戦しました。深く学んだ面接技術はケアマネジャーとしての情報キャッチに活き、障がいや児童など福祉全般の知識によって広い視野が身に付き、現在のケアマネジメントに役立っています。

03

介護の仕事の
やりがいは何ですか？

利用者さんの「当たり前の生活」が守られ、今日ものどかに続いていると感じる時です。特別なことではなく、住み慣れた地域や環境で、昨日と同じように過ごせる。その一瞬を支えられることに、やりがいを感じます。

04

大変な時、
支えになっているものは？

利用者さんの生活の質に直結する仕事だからこそ、責任の重さを感じることがあります。そんな時に支えになるのが、同じ現場で働く職員や、管理者仲間との存在です。大変さを分かち合い、笑って話せる仲間がいるから、前を向いて続けられます。

